

編集後記

平成7年1月17日に、予期しなかった巨大地震が阪神地区を襲いました。その影響により、技報の発行も大幅に遅れ、皆様方には大変なご迷惑をかけたことと存じます。また、論文執筆者や編集委員、幹事の方々にも震災処理の多忙の中、技報第14号の発行に向けてご協力頂いたことに感謝申し上げます。

この震災により5500名を超える尊い命が亡くなり、また、多数の方が被災されました。建築構造物や土木構造物の多くも被災し、阪神高速道路も3号神戸線を中心に損傷を受けました。その後、復旧のための仕様も出来て、それに準拠して3号神戸線は早期復旧のための工事を、また、既設の構造物は耐震補強工事鋭意実施しています。

このように、大きな犠牲を払い、土木技術は新しい段階へ進むことになり、今後、われわれはより強い道路を造ることになります。

次号の技報第15号では、復旧工事や補強工事から得られた新しい技術に関する論文が数多く掲載されることと思われまます。

今後も、技報が高速道路に関する技術啓蒙の一助になることを期待したいと思います。

最後になりましたが、特別論文を執筆して頂きました京都大学長谷川利治教授、巻頭言を執筆して頂きました近藤常任参与、そして、編集委員長の加藤前審議役をはじめ論文発表者ならびに編集委員、幹事の皆様に深く感謝いたします。